

Q1 市場に流通しているイカの寿命は、一般的に種類を問わず同じくらいだとされていますが、それは何年でしょう？

- A.1年 B.2年 C.3年 D.4年

解答：A

解説：スルメイカでは戦後に行われた標識放流では1年以上経過して再捕されたものはなく、寿命は1年と判定されました。

その後イカにも魚類の耳石のような平衡石がある事がわかり、それに年輪ではなく日輪が刻まれているので、それを読むことによってイカの寿命は1年であることが証明されました（一部の種については諸説あります）。

このため、成長がとても早く、生まれた日が少しずれただけで大きさがずいぶん異なってきます。

Q2 イカの血液の色は？

ヒント：人間等の血が赤いのはヘモグロビン由来、イカ等はヘモシアニンに由来します。

- A.赤色 B.青色 C.黄色 D.黒色

解答：B

解説：ヘモシアニンとはイカを含む軟体動物や甲殻類などの血漿中に含まれる色素たんぱく質の一種です。

銅を含み、酸化したものは青色となります。通称、血青素と呼ばれます。（対してヘモグロビンは鉄を含み、酸化したものは鮮紅色となります。通称、血赤素。）

Q3 八戸港で水揚げされるイカの中で漁獲量が最も多く、北海道や東北などでは「マイカ」とも呼ばれているイカはどれでしょう？

- A.ヤリイカ B.スルメイカ C.ケンサキイカ D.アカイカ

解答：B

解説：平成26年の八戸港でのイカの水揚げ数量は約37,000t。その内、スルメイカ（生、冷凍合わせて）は約31,200tとイカ全体の8割以上を占めています。

Q4 平成22年に制定された「八戸イカの日」は何月何日でしょう？

ヒント：八戸とイカの足の数に由来しています。

- A.1月8日 B.8月8日 C.8月10日 D.10月8日

解答：C

解説：八戸市では、平成22年8月10日に、毎月10日を「イカの日」、8月10日を「八戸イカの日」と定める「イカの日」宣言を行いました。

なぜ8月10日なのかと言いますと、八戸の「八」とイカの足の数である「10」に因んでいます。